

単元構想シート

Z 中学校 第 2 学年 国語 科 単元名「身近な人物について伝えよう！ ～わたしのまわりの〇〇さん～」 全 5 時間

単元目標 (育成したい資質・能力)

(知識及び技能)○本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(3)エ

(思考力、判断力、表現力等)◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。C読む(1)エ

(学びに向かう力、人間性等)○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

言語活動

随筆を読み、その表現の効果について考えるとともに、身近な人物についての随筆を書く。

単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点	○「読み解く力」を育成するための手立て	「読み解く力」の育成に重点を置いた目指す児童生徒の姿	
		A：文章・グラフ・図から	B：やりとりから
<p>第一次〔第1時〕</p> <p>①身近にいる人についての随筆を書くことが単元のゴールだと知る。</p> <p>②教師が作成したモデル文と昨年度生徒が書いた随筆作品を読み、随筆の特徴を捉える。</p> <p>□随筆とは、1. 体験や見聞を通して、2. 対象への筆者の思い・評価が書かれたもの、ということをおさえる。</p> <p>③『字のない葉書』を通読する。</p> <p>④この文章での対象が「父」であることを確認する。</p> <p>第二次〔第2時〕</p> <p>⑤「父」の人物像や「私」の「父」に対する思いが分かる表現を付箋に書き出す。</p> <p>⑥付箋をグループ化して整理する。</p> <p style="text-align: center;">発見・蓄積</p> <p>第三次〔第3時〕</p> <p>⑦1. 体験、2. 思い・評価、の観点で、前回書いた付箋を整理し直す。</p> <p>⑧それぞれの描かれ方の違いに注目し、直接的な表現と間接的な表現の違いについて考える。</p> <p>□グループで話し合っただけで考えたあと、自分の考えを書く。</p> <p style="text-align: center;">分析・整理</p> <p>〔第4時〕</p> <p>⑨自分が書きたい対象の人物を決める。</p> <p>⑩その人物に対する自分の思いや捉え方を二つ述べる。</p> <p>⑪思いや捉え方が読み手に伝わるようなエピソードを記述する。</p> <p>□⑩と⑪の活動がしやすいように、クラゲチャートを使用する。</p> <p>〔第5時〕</p> <p>⑫学んだ表現の工夫を生かして、随筆を書く。</p> <p>□帯グラフ状のツールを使って、直接的な表現、間接的な表現の割合を明示する。</p> <p>⑬表現の工夫を用いることで、文章がどう変わるかを考えられたかという視点で振り返りを行う。</p> <p style="text-align: center;">再構築</p>	<p>①「目的意識をもつ」場面</p> <ul style="list-style-type: none"> 随筆の特徴、単元のゴールを全体で確認する。 読み手に人物のことがわかりやすく伝わる書き方を、教材を通して学習していくことを伝える。 <p>①「発見・蓄積」の場面</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項を思い出し、どのような描写を抜き出せば、人物像を捉えられるのかを、全体で確認する。 <p>②「分析・整理」の場面</p> <ul style="list-style-type: none"> 抜き出した表現を前半と後半に整理し、それぞれにどんな特徴があるかを考える活動を入れる。 直接的、間接的な表現のどちらにもよさがあることに気付かせるために、それぞれの効果について、グループで考える活動を入れる。 <p>③「再構築」の場面</p> <ul style="list-style-type: none"> 学んだことを生かすため、どんな工夫をするかを決めてから随筆を書き始める。 相手の随筆を読むときには、表現の工夫に注目して感想を述べるよう指示する。 <p>◇評価の視点</p> <p>◇描かれ方の違いによる、表現の効果について、自分の考えをもつことができる。</p> <p>◇学んだ表現の効果を、自分の随筆作品に生かしている。</p>	<p>①文章や資料等から、目的に応じて情報を取り出す</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物像を捉えるために、その人物の発言や行動を抜き出している。 <p>②様々な情報を比較し、目的に応じて分析したり、整理したりする</p> <ul style="list-style-type: none"> 「父」の描かれ方について、前半は人柄が直接的に表現され、後半は行動や様子で間接的に表現されることが多いことに気付いている。 <p>③解釈した内容を経験や知識と結び付けながら考えを深めたり、創造したりする</p> <ul style="list-style-type: none"> 学んだ表現の効果を意識して、自分の随筆に取り入れている。 	<p>①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流を通して、他の人が抜き出した表現の工夫に気付くことができている。 <p>②相手の思いや意図を自分の考えや経験と比較しながら整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> 前半と後半の表現の違いについて、それぞれの効果をグループで考え、最終的な自分の意見をもつことができている。 <p>③やりとりを通して、相手の思いや意図を踏まえながら、自分の考えを確かなものにしたり、創造したりする</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の随筆に用いられた表現から、効果的な表現の工夫について理解を深めている。